



機 械 設 備 工 事 仕 様 書

I 工 事 概 要

① 工 事 場 所 雲南市加茂町地内

② 棟 別 概 要

建物番号		構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法の区分	備 考
1	プール棟	RC造一部S造	1	1620.44	15項	増築
2	体育館棟	RC造	2	1710.17	15項	改修
3						
4						
5						
6						
7						
8						

(注) 消防法の区分は消防法施行令第1表第1の該当符号を示す。

③ 工 事 種 目 (○印を付したものが該当)

工 事 種 目	建 物 番 号							
	1	2	3	4	5	6	7	8
衛生器具設置								
給 水 設 備	○							
排 水 設 備	○							
消 火 設 備								
ガ ス 設 備								
給 湯 設 備								
浄 化 槽 設 備								
空 気 調 和 設 備								
換 気 設 備								
自 動 制 御 設 備								
エ レ ベ ー タ ー 設 備								
木 質 バイオマス設備	○							

I 工 事 仕 様

1. 共 通 事 項

(1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)平成28年版」(以下「標準仕様書」という)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)平成28年版」(以下「標準図」という)による。  
ただし、改修工事に関しては「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)平成28年版」(以下「改修標準仕様書」という)による。  
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。  
  
2. 特 記 事 項

(1) 章及び項目は、番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は、○ 印を適用する。  
○ 印の無い場合は、\* 印のあるものを適用する。  
○ 印と ○ 印のある場合はともに適用する。

章	項 目	特 記 事 項
① 一般共通事項	① 適用基準等	○ 消防設備等の技術基準 全国消防長会中国支部編(第8次改訂版) ○ 鳥根県機械設備工事施工標準図(平成12年版) ◎ 工事写真の撮り方(改訂第3版)建築設備編 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修

章 項 目

② 機材の品質等

本工事に使用する機材等は、設計図面に定める品質及び性能を有するものとし、JIS、JASマーク又は「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合することを示す認証機関のマーク表示のない機材及びその製造業者等は、次の1)～5)の事項を満たすものとする。  
ただし、使用量の少ないもの、簡易な機材又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1)～5)を考慮の上、監督職員の承認を受けて証明資料の提出を省略することができる。  
1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。  
2) 製造又は施工実績があり、その信頼性があること。  
3) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。  
4) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。  
5) 安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。  
なお、商品名が記載された機材については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受けるものとする。  
また、これらの機材を使用する場合は、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。  
ただし、一般社団法人公共建築協会編纂、発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(平成\_\_\_\_年版)」及び「同設備機材等評価名簿(平成\_\_\_\_年版)」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。

③ 官公署その他への届出手続等

官公署等への届出手続き、申請等に要する費用はすべて受注者の負担とする。

④ 電気保安技術者

工事現場において電気保安技術者は、監督職員の指示に従い電気工作物の保安の業務を行うものとする。

⑤ 工事用電力、水その他

本工事に必要な工事用電力、水などの費用はすべて受注者の負担とする。

6. 発生材の処理等

・引き渡しを要するもの  
( )  
・現場において再利用を図るもの  
( )  
産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による。

項 目	品 目	搬出場所	距離 (km)	処分費 (円/月)	備考
特定建設資材	・コンクリート塊				
	・アスファルト塊				
特別管理産業廃棄物	・木材				
その他	・金属				
	・腐プラ				
	・樹脂ガラスくず				

・建設リサイクル法届出対象工事

配置する位置は別に図示する。

名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員A		
交通誘導員B		
交通整理員		

(注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。

⑧ 技能士の適用

技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的に活用に努めること。

⑨ 工事写真

下記のものを提出する。仕様は、鳥根県建築工事写真取扱要領による。

区 分	品 名	サイズ(mm)	提出部数
工 事 中	＊カラー	＊80×120 程度	1 部
	＊完成	＊80×120 程度	4 部

フィルムカメラを使用した場合は、完成写真のネガフィルムをカラーペーパー焼き又はインデックスプリントとともに提出する。  
デジタルカメラを使用した場合は、工事写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。

\*写真及びネガ・フィルムは、市販のJIS A4判の工事用アルバムにて製本し、提出する。

⑩ 完成図及びマイクロフィルム

下記のものを、完成後15日以内に提出する。  
仕様は、鳥根県建築工事完成図取扱要領による。

品 名	仕 様	提出部数
＊ 原図(設計原図の訂正でもよい)		1 部

＊ 竣工図

製本サイズ(＊ A3縮小版・原図サイズ)白焼  
表装(＊ レザック表紙(ラミネート仕上)・黒表紙(金文字入り) 4 部 |

＊ 竣工図(構造細部図、設備の配管配線図、監督職員が指示する図面)

製本サイズ(＊ A3縮小版・原図サイズ)白焼  
表装(＊ レザック表紙(ラミネート仕上)・黒表紙(金文字入り) 1 部 |

＊ 電子データ(画像データ、CADデータ)(CD-R等)

＊ マイクロフィルム(鳥根県マイクロフィルム仕様書による) 1 部 |

設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、雲南市にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。

章 項 目

⑪ 保全に関する資料

建築物等の利用に関する説明書(電子データ共(CD-R等))  
(建築物等の利用に関する説明書作成要領による)  
機器取扱説明書  
機器性能試験成績書及び配管試験記録  
官公署届出書類  
主要機器一覧表  
総合調整測定表  
その他監督職員が指示するもの

⑫ 総合調整

装置全体の施工完了時に、下記の総合調整を行う。  
・ 風量調整  
○ 水量調整  
・ 室内外空気の温湿度の測定  
・ 室内気流及びじんあいの測定  
・ 騒音の測定  
・ 飲料水の水质の測定  
＊ 一般飲料水適否検査  
(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩素イオン、有機酸(TOC)、pH値、味、臭気、色度、濁度の10項目を含むものとする)  
・ 水道法施行規則による水质検査

⑬ 図 形 表 示

機器類は、図示する形状及び配管などの取り出し位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。

⑭ 電気容量及び機器能力表示

原則として、電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は図面に記載されている数値以下、機器類の能力及び容量等は表示された数値以上とする。

⑮ 保 温

(1) 管(継手及び弁類を含む。)の保温は下記の部分を除きグラスウール保温材によるものとする。  
施工順序は標準仕様書による。  
① 給水管の保温材はポリスチレンフォーム保温材による。  
② 屋内露出排水管の保温材はポリスチレンフォーム保温材とし、屋外露出排水立管は塗装のみとする。  
(2) 一般ダクトの保温はグラスウール保温材による。  
(3) 機器の保温はグラスウール保温材による。  
(4) 次の部分の保温は屋外露出仕様とする。  
・ ピロティ、渡り廊下等外気に接する配管及びダクト  
・ ポンプ室内の配管  
・ 厨房内の配管  
・ 共同構内の配管  
(5) 冷媒管に断熱被覆鋼管を使用した場合の外装材下記による。  
・ 樹脂製  
・ 溶融亜鉛めっき製  
・ ステンレス鋼板製  
(6) 全熱交換ユニットより外気側のダクト  
・ 断熱する  
・ 断熱しない  
(7) 合成樹脂製カバー  
＊1(シートタイプ) ・ 2(ジャケットタイプ)

⑯ 塗 装

下記の部分を除き、原則として塗装を行う。  
① 亜鉛めっきされたもので常時隠ぺいされる部分  
② 亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類  
③ 主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管  
④ カラー亜鉛鉄板面 ⑤ 亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面  
⑥ 樹脂コーティング等をしたもので、常時隠ぺいされる部分  
⑦ アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板、合成樹脂等、特に塗装に必要を認められない面  
⑧ 埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く)  
塗装を施さない部分・箇所  
・ 倉庫  
・ 車庫

⑰ 耐 震 措 置

設備機器の固定は、「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説(建設大臣官庁官庁営繕部監修)平成8年版」及び「建築耐震設計・施工指針(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)2014年版」及び「財団法人日本エレベーター協会発行の「昇降機耐震設計施工指針(日本建築設備昇降機センター編集)2014年版」による。  
建物の種別  
・ 特定の施設  
○ 一般の施設  
重要機器  
・ 水槽(受水槽、高麗水槽)  
・ 給水ポンプ(加圧給水ポンプユニット、揚水ポンプ)  
・ オイルタンク(サービスタンク)  
・ 消火ポンプユニット  
・ オイルポンプ

建築設備の設計用標準水平震度(Ks)

設置場所	機器種別	特定φ施設		一般φ施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
地階及び1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6

※ 階間(オイルシム)

章 項 目

特 記 事 項

注) 上層階の定義は次による。  
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階  
  
設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  
  
エレベーターの耐震クラス  
S11  
エレベーターの設計用標準水平震度(Ks)は標準仕様書による。  
  
地震係数 0.9

⑱ 耐 震 施 工

横引き配管等は、地震時の設計用水平震度及び設計用鉛直震度に応じた地震力に耐えるよう建築設備耐震設計・施工指針2014年版によるS A種、A種又はB種耐震支持を行う。ただし、次の場合を除く。  
① 吊り長さが平均0.2m以下、4.0A以下の配管(鋼管は2.0A以下)  
② 吊り長さが平均0.2m以下、周長1.0m以下のダクト

⑲ 補 強 等

配管、ダクト及び機器の設置に必要な補強等はすべて本工事とする。

⑳ 外壁との取り合い

外壁と設備の取り合い部分はシーリングする。  
シーリング材は、外壁の種類に応じたものとする。

㉑ 配管施工

(1) ねじ加工に際してはねじゲージを使用し、ねじの長さを調整する。  
(2) ねじ切り接合部及び工具による損傷部には、必ず防錆塗料を塗布する。  
(3) イオン化傾向の大きく異なる異種金属の接続には、絶縁紐手を使用する。

㉒ 支持金物、固定金物

(1) ポンプ及び屋外設置機器、ビット内のアンカーボルト、ナットはステンレス製(SUS304)とする。  
(2) 屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等は、ステンレス製(SUS304)、又は溶融亜鉛めっき仕上げ(2種3B)とする。

23. 屋外埋設管標識柱

方向、種別(給水管W、消火管F、ガス管G、油管O)を表示したもので、設置場所は曲がり部、分岐部とする。

㉔ 配管名等の表示方法

(1) 配管及びダクトの用途、系統及び流れ方向を表示する。  
(2) 弁にはアクリル板札を取り付けて用途を明記する。  
(3) 貼付表示する場合は、耐候性のある材料を使用する。

㉕ 機器操作要領の説明板

機器の運転操作要領及び取扱い上の留意事項をアクリル板(白地)に黒及び朱色の文字で書く。板の大きさ及び文率は監督職員の承認を受ける。

26. 足場

本工事で設置する。  
・ 内部足場 ( 種 )  
・ 外部足場 ( 種 )

27. 土工事

建設発生土の処理  
・ 構内処理の場所に敷き均し  
・ 構内指定場所に堆積  
・ 指定処分 ( ・ A ・ B ・ C ・ D ・ E ・ F )  
(詳細は、現場説明書による。)

28. はつり工事

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドドカンターによる。

㉖ 補修

工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既存にならない補修する。

30. 負担金

・ 水道 円(内消費税等相当額 円)  
・ ガス 円(内消費税等相当額 円)  
・ 下水道 円(内消費税等相当額 円)

㉗ 特定元事業者の指名

労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名  
・ 本工事の受注者を指名する。  
○ 他工事の受注者を指名する。  
(健康づくり拠点整備事業雲南市加茂B&G海洋センター改修工事(建築主体))

㉘ 施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に関わる当該建物における著作権は発注者に委譲するものとする。

33. 事前調査等

大気汚染防止法第18条の17の規定に基づき、受注者は事前調査を実施し、発注者へ書面による説明及び調査結果の指示を行うこと。

㉙ 施工調査

本工事の施工に先立ち事前調査を行う。

35. 木製安全施設製品(県産木材製品)

・ 工事用標示板(表示板1,400mm×1,100mm用) 台  
＊ 工事用看板(表示板1,400mm×500mm用) 2台  
＊ 工事用バリケード 5台

㉚ 関連他工事

健康づくり拠点整備事業雲南市加茂B&G海洋センター改修工事(建築主体)  
健康づくり拠点整備事業雲南市加茂B&G海洋センター改修工事(電気設備)  
健康づくり拠点整備事業雲南市加茂B&G海洋センター改修工事(機械設備)

図面番号

BM-01

図 面 名 称

特記仕様書(1)

縮 尺

A3/\*  
A1/\*

工 事 名 称

健康づくり拠点整備事業 雲南市加茂B&G海洋センター改修工事(木質バイオマス)

備 考

設 計 年 月

2017.03

(株)寺本建築・都市研究所

松江市外中町216-5 TEL(0852)26-1196  
1級建築士事務所 鳥根県知事登録 第1791号  
1級建築士登録 第88414号 寺本 和雄

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項
2	1. 自動水栓 2. 身体障がい者設備 衛生器具設備	電線供給方式はAC100Vとする。  鳥根県ひとにやさしいまちづくり条例施設整備マニュアルによる。	5	1. 消火方法  2. 配管材料  消火設備	・消火器 ・屋内1号消火栓 ・屋外消火栓 ・連結送水管 ・仕様は図記による。 ・易操作性1号消火栓	・屋内2号消火栓 ・スプリンクラー	8	1. 処理対象人員  2. 処理方法  要求性能	JIS A 3302-2000に基づく用途及び用途別番号 類似用途別番号 ( ) 建築用途 ( )  処理対象人員 人 汚水量 m <sup>3</sup> /日 処理対象人員及び汚水量算定式は、図記による。	9	1. 配管材料  空調設備  換気設備	種別 給水  冷温水  冷却水  蒸気給気  油  蒸気遠管  冷媒  ドレン	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 116  一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448 架橋ポリエチレン管 JIS K 6768 または、ポリブデン管 JIS K 6778  水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP・VP) JIS K 6742 水道用ポリエチレン二層管 JIS K 6762
					区分材料規格 隠ぺい・露出配管用炭素鋼鋼管JIS G 3452(B) 土中埋設消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管WSP 041 硬質塩化ビニル管								
					注) 土中埋設で塩化ビニル管を使用する場合は所轄の消防と協議の上使用する。								
3	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取付けること。  10. 屋外フード類 着色 ・する ・しない  11. 弁の耐圧 図記なき弁の耐圧は5Kとする。  12. 天井開口補強 本工事とする。	60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。  ステンレス製ベローズ形とする。  空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。  (1) 長方形ダクトの製作 ・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法 ( ・ 異板フランジ ・スライドオンフランジ) ただし、長辺1,500mmを超えるもの及び、最大静圧500Paを超えるものはアングル工法とする。 (2) 円形ダクト ・亜鉛鉄板製(スパイラルダクト) ・硬質塩化ビニル製(VU管) (3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。					
		区分材料規格 隠ぺい・コンクリート埋込水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管JWWA K 116 一般配管用ステンレス鋼管JIS G 3448 架橋ポリエチレン管JIS K 6768 または、ポリブデン管JIS K 6778  土中埋設水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP・VP)JIS K 6742 水道用ポリエチレン二層管JIS K 6762											
		60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の鋼管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。 ビニル管の接合方法をゴム輪接合とする場合、直管以外の継手類には、離形防止金具を使用する。 水道用ポリエチレン二層管は50A以下とする。(金属製継手を使用する)  <del>図記なき弁の耐圧は10Kとする。</del> 受水槽以降に使用する弁は5Kとし、公営水道に直結する配管に使用する弁は10Kとする。  (1) マンホールカバーは施設する。 (2) 電極棒取付座及び電極棒の取付は本工事とする。 (3) フレキシブルジョイントは( ・ ステンレス製 ・ 合成ゴム製 )とする。 (4) 屋外に設置するタンクの積雪耐荷重は2KPa以上とする。 (5) 屋外に設置するタンクのマンホールは、気密性を有する構造とし、断熱性を有するタンクの場合には保温形(二重蓋構造等)とする。											
4	1. 弁の耐圧  2. タンク  3. 電気工事	図記なき弁の耐圧は10Kとする。 受水槽以降に使用する弁は5Kとし、公営水道に直結する配管に使用する弁は10Kとする。  (1) マンホールカバーは施設する。 (2) 電極棒取付座及び電極棒の取付は本工事とする。 (3) フレキシブルジョイントは( ・ ステンレス製 ・ 合成ゴム製 )とする。 (4) 屋外に設置するタンクの積雪耐荷重は2KPa以上とする。 (5) 屋外に設置するタンクのマンホールは、気密性を有する構造とし、断熱性を有するタンクの場合には保温形(二重蓋構造等)とする。	3. ガスメーター  4. ガスコック  5. その他	・ガス事業者貸与(配管はメーターユニオンまで本工事) ・買取  (1) 過流出安全装置付とする。 (2) 双口コックは片栓にゴムキャップ付とする。 (3) ボックスコックは押回しカチットタイプとする。  (1) 配管には必要に応じ水抜き装置を取付ける。 (2) 都市ガス工事はガス事業者の指定業者の施工とする。 (3) 奥映用高圧ガスは請負者の責任施工とする。 (4) ガス器具はガス事業者認定品(都市ガス)とする。 (5) ガス器具は検定合格品(液化石油ガス)とする。 (6) 都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。	8. 水中ポンプ  9. 電気工事  10. その他	(1) 回路には漏電遮断器を設ける。 (2) 自動交互並列運転とする。  (1) 電線供給は別途電気設備工事とする。 (2) 操作・制御回路は本工事とする。 ( ・一括警報用無電圧端子付とする )  (1) 指定された放流水質になるまでの調整は請負者が行うものとする。 (2) 消毒薬を3ヵ月相当分納入する。 (3) 浄化槽法第7条による検査は工事請負者の負担とする。 (4) マンホールは錠付とする。	10	1. 自動制御方式 2. 中央監視装置 3. 電源装置	・電子式 ・電気式 ・デジタル式 ・本工事 ・別途工事 (仕様は図記による) ・本工事 ・別途工事 (仕様は図記による)				
		区分材料規格 隠ぺい・露出配管用炭素鋼鋼管JIS G 3452(B) 土中埋設消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管WSP 041 硬質塩化ビニル管											
		注) 土中埋設で塩化ビニル管を使用する場合は所轄の消防と協議の上使用する。											
5	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取付けること。  10. 屋外フード類 着色 ・する ・しない  11. 弁の耐圧 図記なき弁の耐圧は5Kとする。  12. 天井開口補強 本工事とする。	60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。  ステンレス製ベローズ形とする。  空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。  (1) 長方形ダクトの製作 ・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法 ( ・ 異板フランジ ・スライドオンフランジ) ただし、長辺1,500mmを超えるもの及び、最大静圧500Paを超えるものはアングル工法とする。 (2) 円形ダクト ・亜鉛鉄板製(スパイラルダクト) ・硬質塩化ビニル製(VU管) (3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。					
		区分材料規格 隠ぺい・コンクリート埋込水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管JWWA K 116 一般配管用ステンレス鋼管JIS G 3448 架橋ポリエチレン管JIS K 6768 または、ポリブデン管JIS K 6778  土中埋設水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP・VP)JIS K 6742 水道用ポリエチレン二層管JIS K 6762											
		60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の鋼管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。 ビニル管の接合方法をゴム輪接合とする場合、直管以外の継手類には、離形防止金具を使用する。 水道用ポリエチレン二層管は50A以下とする。(金属製継手を使用する)  <del>図記なき弁の耐圧は10Kとする。</del> 受水槽以降に使用する弁は5Kとし、公営水道に直結する配管に使用する弁は10Kとする。  (1) マンホールカバーは施設する。 (2) 電極棒取付座及び電極棒の取付は本工事とする。 (3) フレキシブルジョイントは( ・ ステンレス製 ・ 合成ゴム製 )とする。 (4) 屋外に設置するタンクの積雪耐荷重は2KPa以上とする。 (5) 屋外に設置するタンクのマンホールは、気密性を有する構造とし、断熱性を有するタンクの場合には保温形(二重蓋構造等)とする。											
6	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取付けること。  10. 屋外フード類 着色 ・する ・しない  11. 弁の耐圧 図記なき弁の耐圧は5Kとする。  12. 天井開口補強 本工事とする。	60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。  ステンレス製ベローズ形とする。  空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。  (1) 長方形ダクトの製作 ・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法 ( ・ 異板フランジ ・スライドオンフランジ) ただし、長辺1,500mmを超えるもの及び、最大静圧500Paを超えるものはアングル工法とする。 (2) 円形ダクト ・亜鉛鉄板製(スパイラルダクト) ・硬質塩化ビニル製(VU管) (3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。					
		区分材料規格 隠ぺい・露出配管用炭素鋼鋼管JIS G 3452(B) 土中埋設消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管WSP 041 硬質塩化ビニル管											
		注) 土中埋設で塩化ビニル管を使用する場合は所轄の消防と協議の上使用する。											
7	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取付けること。  10. 屋外フード類 着色 ・する ・しない  11. 弁の耐圧 図記なき弁の耐圧は5Kとする。  12. 天井開口補強 本工事とする。	60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。  ステンレス製ベローズ形とする。  空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。  (1) 長方形ダクトの製作 ・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法 ( ・ 異板フランジ ・スライドオンフランジ) ただし、長辺1,500mmを超えるもの及び、最大静圧500Paを超えるものはアングル工法とする。 (2) 円形ダクト ・亜鉛鉄板製(スパイラルダクト) ・硬質塩化ビニル製(VU管) (3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。					
		区分材料規格 隠ぺい・露出配管用炭素鋼鋼管JIS G 3452(B) 土中埋設消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管WSP 041 硬質塩化ビニル管											
		注) 土中埋設で塩化ビニル管を使用する場合は所轄の消防と協議の上使用する。											
8	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取付けること。  10. 屋外フード類 着色 ・する ・しない  11. 弁の耐圧 図記なき弁の耐圧は5Kとする。  12. 天井開口補強 本工事とする。	60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。  ステンレス製ベローズ形とする。  空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。  (1) 長方形ダクトの製作 ・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法 ( ・ 異板フランジ ・スライドオンフランジ) ただし、長辺1,500mmを超えるもの及び、最大静圧500Paを超えるものはアングル工法とする。 (2) 円形ダクト ・亜鉛鉄板製(スパイラルダクト) ・硬質塩化ビニル製(VU管) (3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。					
		区分材料規格 隠ぺい・露出配管用炭素鋼鋼管JIS G 3452(B) 土中埋設消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管WSP 041 硬質塩化ビニル管											
		注) 土中埋設で塩化ビニル管を使用する場合は所轄の消防と協議の上使用する。											
9	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取付けること。  10. 屋外フード類 着色 ・する ・しない  11. 弁の耐圧 図記なき弁の耐圧は5Kとする。  12. 天井開口補強 本工事とする。	60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。  ステンレス製ベローズ形とする。  空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。  (1) 長方形ダクトの製作 ・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法 ( ・ 異板フランジ ・スライドオンフランジ) ただし、長辺1,500mmを超えるもの及び、最大静圧500Paを超えるものはアングル工法とする。 (2) 円形ダクト ・亜鉛鉄板製(スパイラルダクト) ・硬質塩化ビニル製(VU管) (3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。					
		区分材料規格 隠ぺい・露出配管用炭素鋼鋼管JIS G 3452(B) 土中埋設消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管WSP 041 硬質塩化ビニル管											
		注) 土中埋設で塩化ビニル管を使用する場合は所轄の消防と協議の上使用する。											
10	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取付けること。  10. 屋外フード類 着色 ・する ・しない  11. 弁の耐圧 図記なき弁の耐圧は5Kとする。  12. 天井開口補強 本工事とする。	60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。  ステンレス製ベローズ形とする。  空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。  (1) 長方形ダクトの製作 ・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法 ( ・ 異板フランジ ・スライドオンフランジ) ただし、長辺1,500mmを超えるもの及び、最大静圧500Paを超えるものはアングル工法とする。 (2) 円形ダクト ・亜鉛鉄板製(スパイラルダクト) ・硬質塩化ビニル製(VU管) (3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。					
		区分材料規格 隠ぺい・露出配管用炭素鋼鋼管JIS G 3452(B) 土中埋設消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管WSP 041 硬質塩化ビニル管											
		注) 土中埋設で塩化ビニル管を使用する場合は所轄の消防と協議の上使用する。											
11	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取付けること。  10. 屋外フード類 着色 ・する ・しない  11. 弁の耐圧 図記なき弁の耐圧は5Kとする。  12. 天井開口補強 本工事とする。	60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。  ステンレス製ベローズ形とする。  空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。  (1) 長方形ダクトの製作 ・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法 ( ・ 異板フランジ ・スライドオンフランジ) ただし、長辺1,500mmを超えるもの及び、最大静圧500Paを超えるものはアングル工法とする。 (2) 円形ダクト ・亜鉛鉄板製(スパイラルダクト) ・硬質塩化ビニル製(VU管) (3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。					
		区分材料規格 隠ぺい・露出配管用炭素鋼鋼管JIS G 3452(B) 土中埋設消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管WSP 041 硬質塩化ビニル管											
		注) 土中埋設で塩化ビニル管を使用する場合は所轄の消防と協議の上使用する。											
12	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取付けること。  10. 屋外フード類 着色 ・する ・しない  11. 弁の耐圧 図記なき弁の耐圧は5Kとする。  12. 天井開口補強 本工事とする。	60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。  ステンレス製ベローズ形とする。  空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。  (1) 長方形ダクトの製作 ・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法 ( ・ 異板フランジ ・スライドオンフランジ) ただし、長辺1,500mmを超えるもの及び、最大静圧500Paを超えるものはアングル工法とする。 (2) 円形ダクト ・亜鉛鉄板製(スパイラルダクト) ・硬質塩化ビニル製(VU管) (3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。					
		区分材料規格 隠ぺい・露出配管用炭素鋼鋼管JIS G 3452(B) 土中埋設消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管WSP 041 硬質塩化ビニル管											
		注) 土中埋設で塩化ビニル管を使用する場合は所轄の消防と協議の上使用する。											
13	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取付けること。  10. 屋外フード類 着色 ・する ・しない  11. 弁の耐圧 図記なき弁の耐圧は5Kとする。  12. 天井開口補強 本工事とする。	60Sφ以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準による継手とする。75Sφ以上のステンレス鋼管継手はハウジング継手とする。  ステンレス製ベローズ形とする。  空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き装置を設ける。  (1) 長方形ダクトの製作 ・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法 ( ・ 異板フランジ ・スライドオンフランジ) ただし、長辺1,500mmを超えるもの及び、最大静圧500Paを超えるものはアングル工法とする。 (2) 円形ダクト ・亜鉛鉄板製(スパイラルダクト) ・硬質塩化ビニル製(VU管) (3) 防火区画貫通部の施工 貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。					
		区分材料規格 隠ぺい・露出配管用炭素鋼鋼管JIS G 3452(B) 土中埋設消火用硬質塩化ビニル被覆鋼管WSP 041 硬質塩化ビニル管											
		注) 土中埋設で塩化ビニル管を使用する場合は所轄の消防と協議の上使用する。											
14	1. 給水方式 2. 配管材料  給水設備	・公共水道直結給水 ・重力給水(高置タンク方式) ○加圧給水	3. 消火器ボックス  4. 保温  5. 弁の耐圧	屋外は樹脂製とする。 屋内は図記とする。  消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 ( 施工場所: )  図記なき弁の耐圧は10Kとする。	3. 地盤工事  4. 土留工事  5. 上部用途  6. ブロワー  7. 配管 配管支持材	支持杭 工事区分 杭 区 本工事 杭 本数 本  矢板 工事区分 矢板種別 鋼製矢板 SP 型 矢板長さ m 工法 ・バイブロンマー ・圧入工法  用途 耐圧(安全荷重)  型式 地上型 台数 ・2台(自動交互) ・1台 ブロワー室 ・別途建築工事 ・本工事	2. フレキシブル ジョイント  3. 冷水管の 空気抜き  4. ダクト  5. 吹出口・吸込口 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。 着色 ・する ・しない  6. 点検口  7. チャンバー  8. 予備フィルター ・図記による ・フィルター装着枚数の100% ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ屋内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。  9. ばい煙測定口 煙道内の排気						

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	工 事 名 称	備 考	設 計 年 月	(株) 寺本建築・都市研究所
BM-02	特記仕様書(2)	A3/* A1/*	健康づくり拠点整備事業 雲南市加茂B&G海洋センター改修工事(木質バイオマス)		2017.03	松江市外中町216-5 TEL(0852)26-1196 1級建築士事務所 島根県知事登録 第1791号 1級建築士登録 第88414号 寺本 和雄

新設機器

機器名称	記 号	仕 様	電 源		数 量	設置場所
			φ	V		
温水発生機	BH-2	型 式 : 木質チップ炊き 無圧式屋内設置型温水発生機	3	200	11.44kw	1 1階機械室
		能 力 : 定格出力360Kw(309,600KCal/h)				コンクリート基礎工事
		燃 料 : 木質チップ(消費量232Kg/h;含水率U=100%)				
		付 属 品 : 缶水温度加熱防止、水位検出制御、自動灰出し装置、チップ搬送装置				
		排ガス浄化装置、送風機、自動煙管掃除装置(灰受けボックス)、制御盤				
		逆火消化装置、感震器、熱交換器ユニット、燃料積み出し装置、				
温水一次ポンプ (BH-2系)	HP-12	型 式 : 渦巻型 カップリング仕様	3	200	2.2kw	1 1階機械室
		能 力 : φ65×50×516L/min×1.5m 水温90℃対応				コンクリート基礎別途工事
		付 属 品 : 溶融亜鉛メッキ鋼製振架台				

凡例	破線は別途工事範囲を示す。
----	---------------

※高温温水廻りの排水管は耐熱硬質塩化ビニル管(HTVP)とする。

凡 例

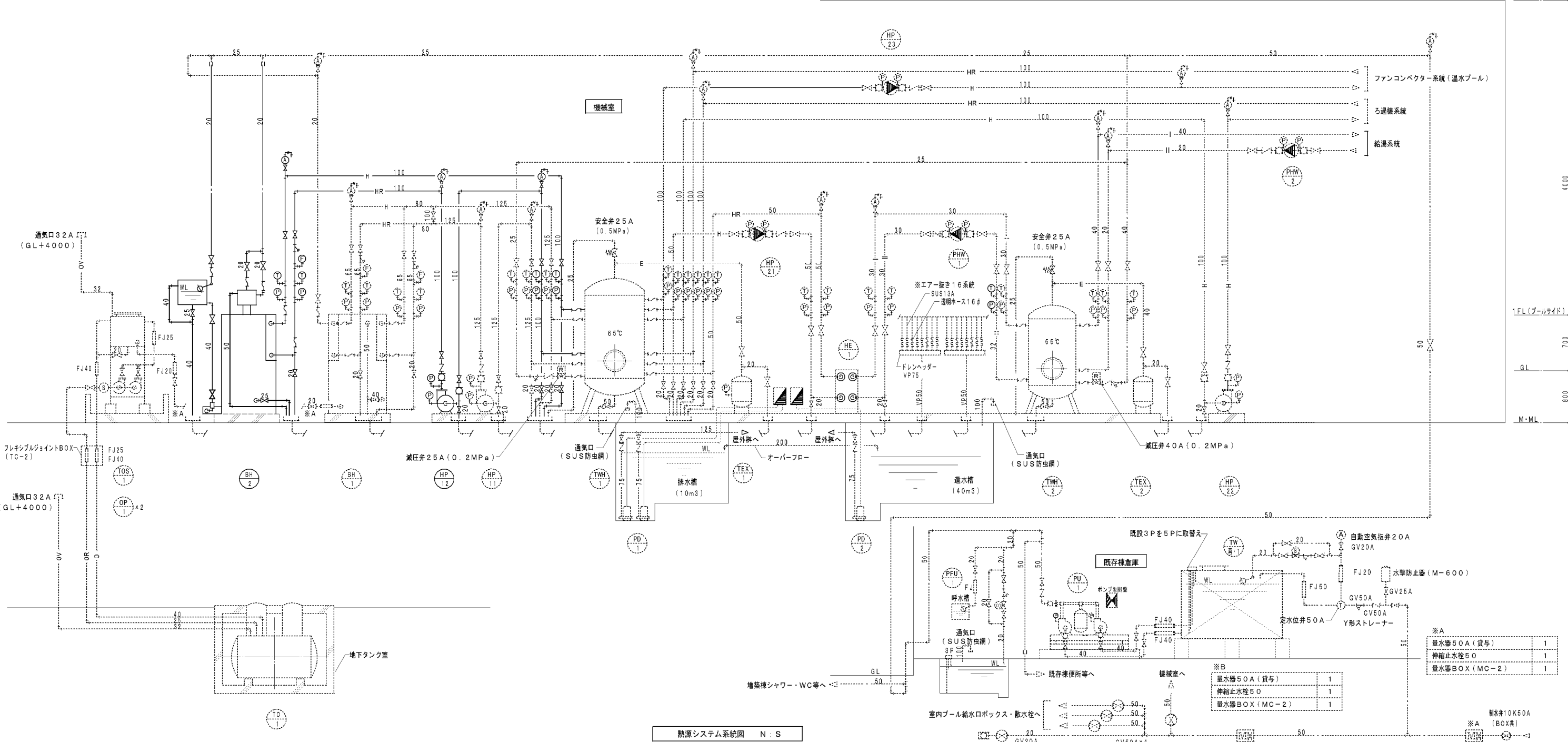
記 号	名 称	材 質
—VA—	給水管	SGP-VA
—I—	給湯管(往き)	SUS(給管)
—II—	給湯管(還り)	SUS(給管)
—H—	温水管(往き)	SGP(白)
—HR—	温水管(還り)	SGP(白)
—E—	膨張管	SUS(給管)
—O—	油管(往き)	SGP(黒)
—OR—	油管(還り)	SGP(黒)
—OV—	油管(通気)	SGP(黒)

凡 例

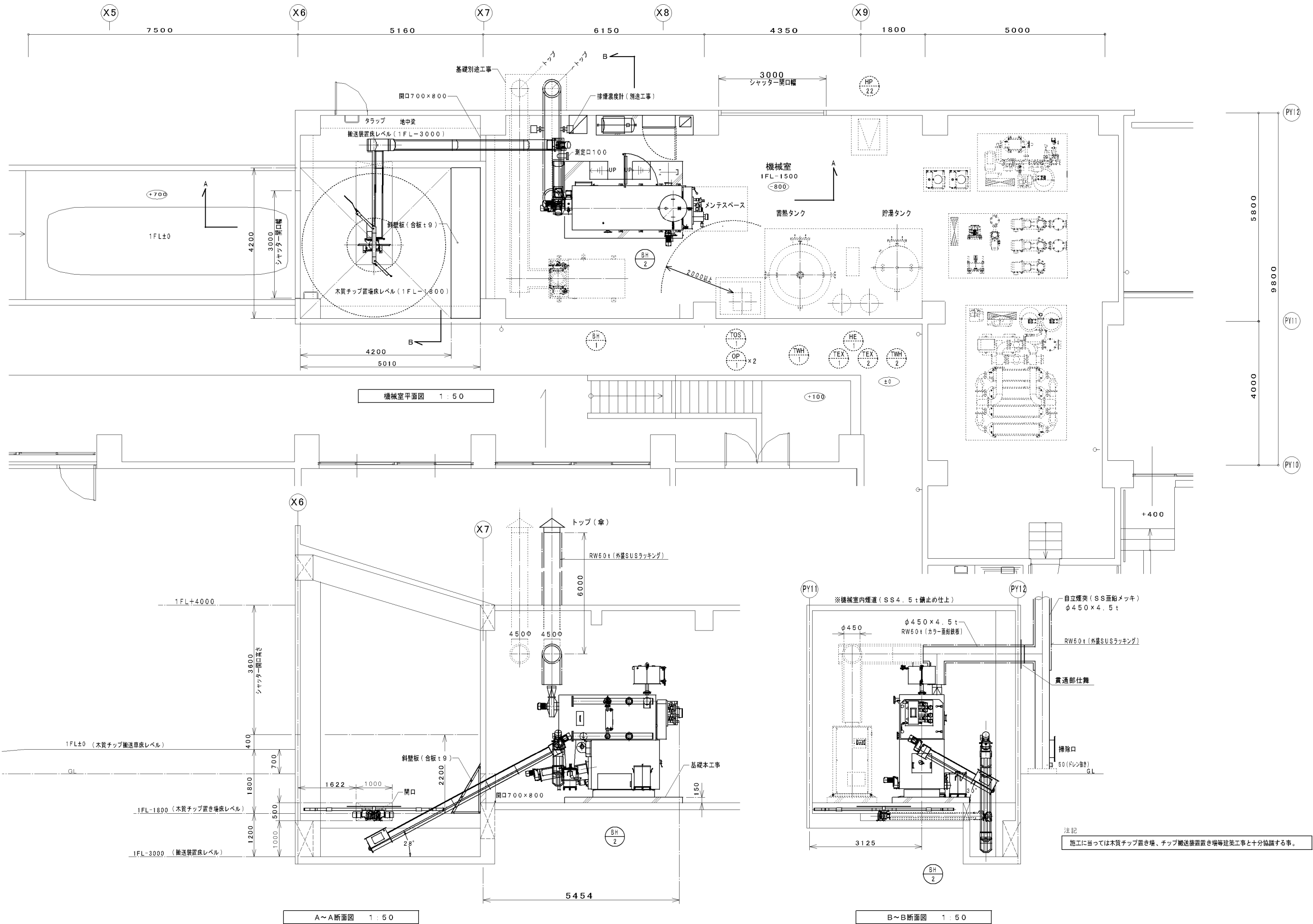
記 号	名 称	材 質
▽	仕切弁(50A以下)	GV
▽	バタフライ弁(65A以上)	BV
Z	逆止弁(JIS10K)	
▽	減圧弁	
○	自動空気抜き弁20A	
伸縮継手(D)	伸縮継手(複式)	
安全弁	安全弁	
フレキシブルジョイント(水用)	フレキシブルジョイント(水用)	ベローズ形
SUS製JIS10K	SUS製JIS10K	
25A以下300L	25A以下300L	
32A~50A500L	32A~50A500L	
65A~150A500L	65A~150A500L	
フレキシブルジョイント(油用)	フレキシブルジョイント(油用)	
SUS製JIS10K	SUS製JIS10K	
20A以下300L	20A以下300L	
25A~40A500L	25A~40A500L	

凡 例

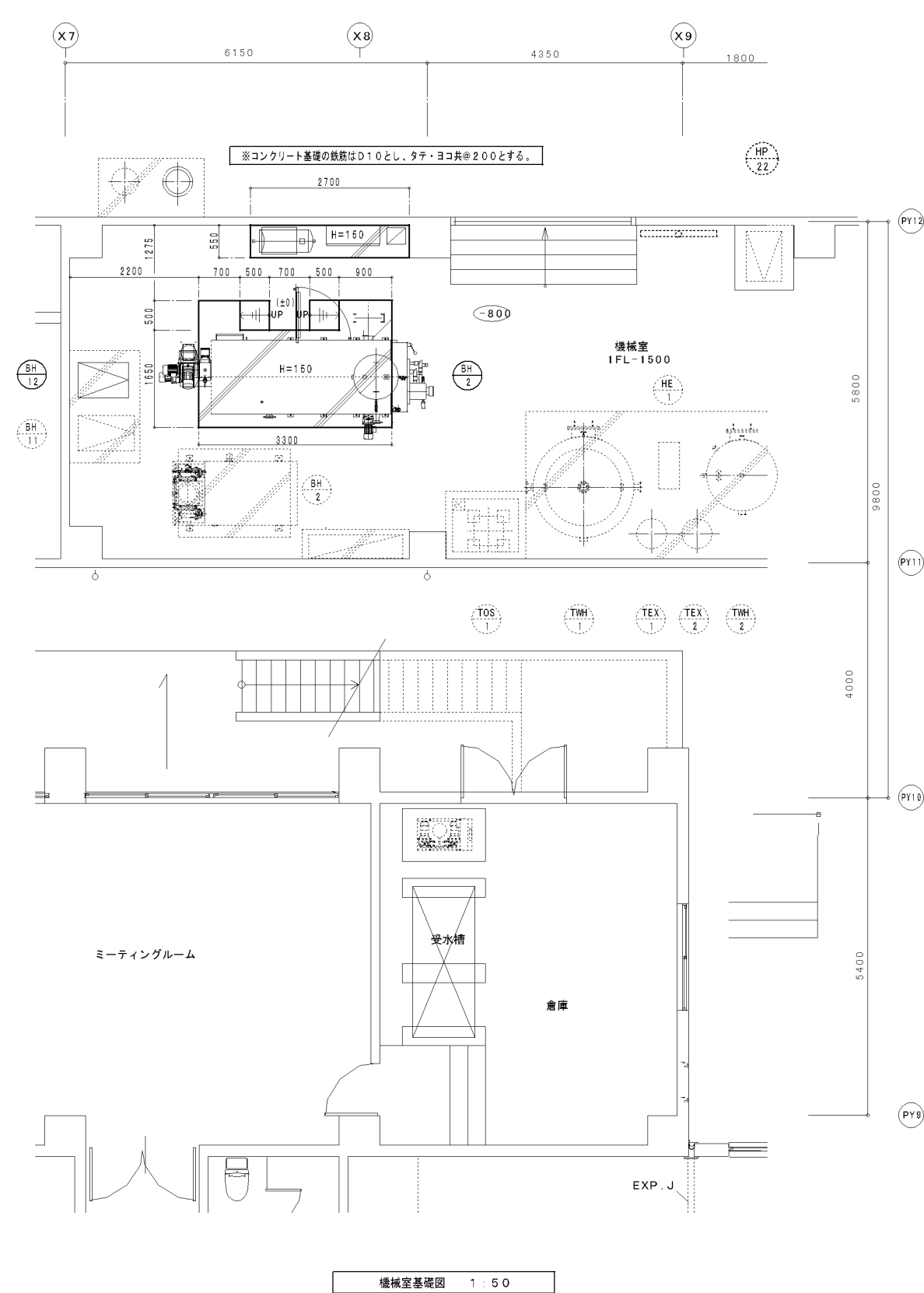
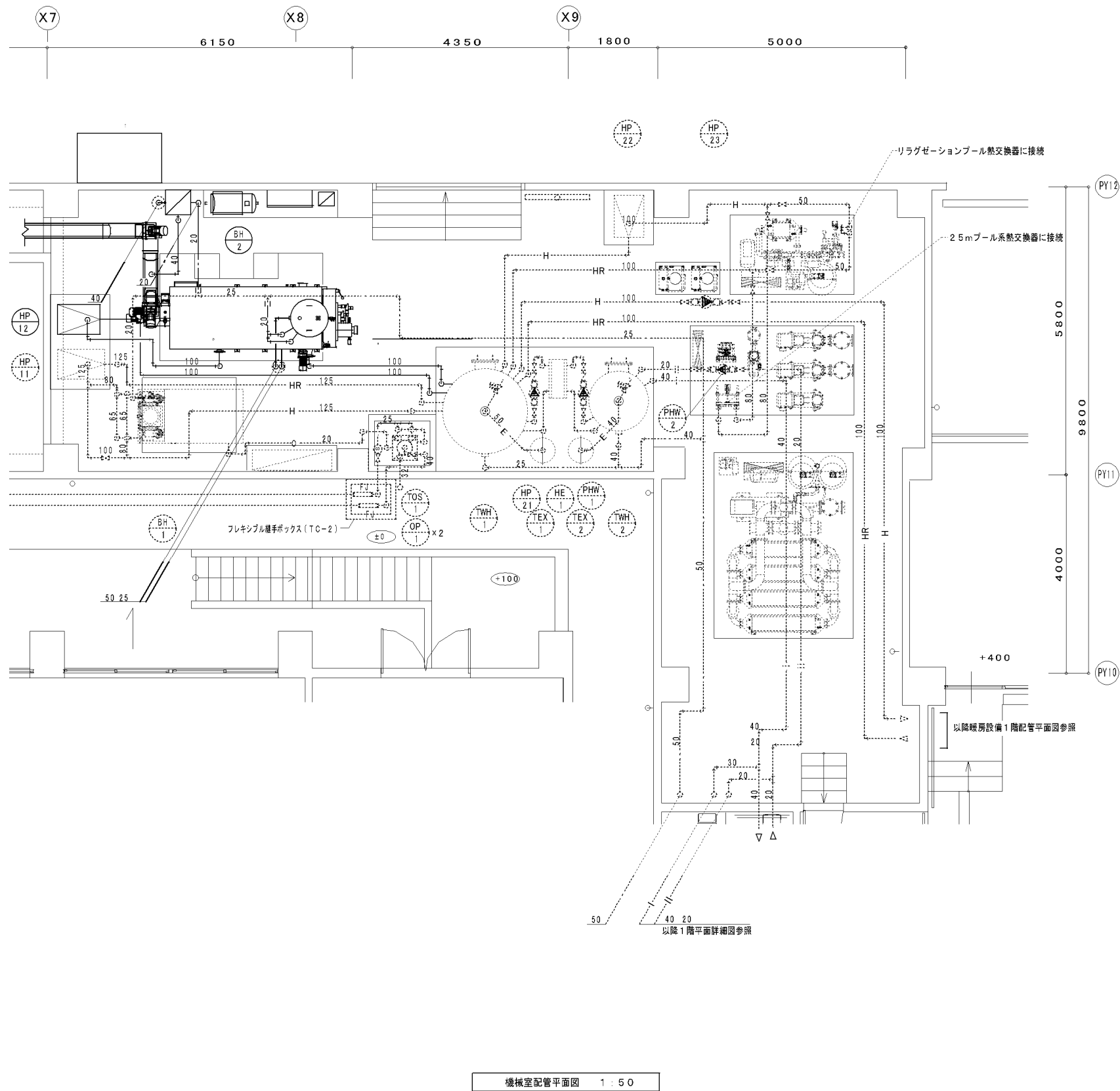
記 号	名 称	材 質
○	フレキシブルジョイント	球形ゴム製
○	給湯管・温水管用100℃	
○	温度計(φ100)	
○	圧力計(φ100)	
○	瞬間流量計	
○	ストレーナー(複式)	油用
○	ストレーナー	



図面番号	図 面 名 称	縮 尺	工 事 名 称	備 考	設 計 年 月	(株) 寺本建築・都市研究所
BM-03	熱源システム系統図	A3/* A1/*	健康づくり拠点整備事業 雲南市加茂B&G海洋センター改修工事(木質バイオマス)		2017.03	松江市外中環町216-5 TEL(0852)26-1196 1級建築士事務所 島根県知事登録 第1791号 1級建築士登録 第88414号 寺本 和雄



図面番号	図面名称	縮尺	工事名称	備考	設計年月	（株）寺本建築・都市研究所
BM-04	機械室平面図・断面図	A3/1:100 A1/1:50	健康づくり拠点整備事業 雲南市加茂B&G海洋センター改修工事（木質バイオマス）		2017.03	松江市外中環町216-5 TEL(0852)26-1196 1級建築士事務所 島根県知事登録 第1791号 1級建築士登録 第88414号 寺本 和雄



図面番号	図面名称	縮尺	工事名称	備考	設計年月	(株)寺本建築・都市研究所
MB-05	機械室配管平面図・基礎図	A3/1:100 A1/1:50	健康づくり拠点整備事業 雲南市加茂B&G海洋センター改修工事(木質バイオマス)		2017.03	松江市外中環町216-5 TEL(0852)26-1196 1級建築士事務所 島根県知事登録 第1791号 1級建築士登録 第88414号 寺本 和雄